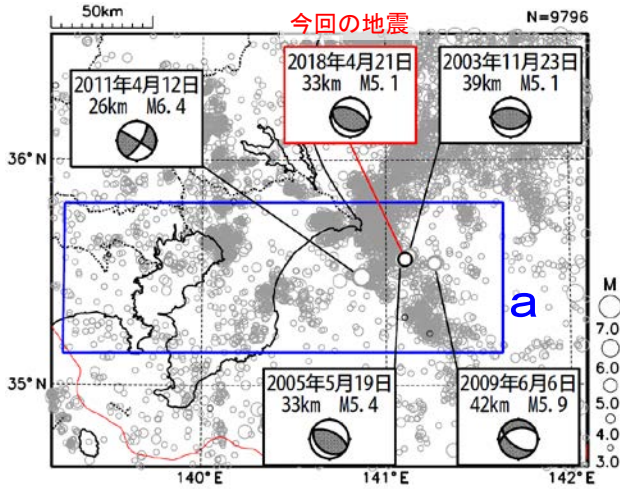


4月21日 千葉県東方沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2018年4月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
2018年4月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

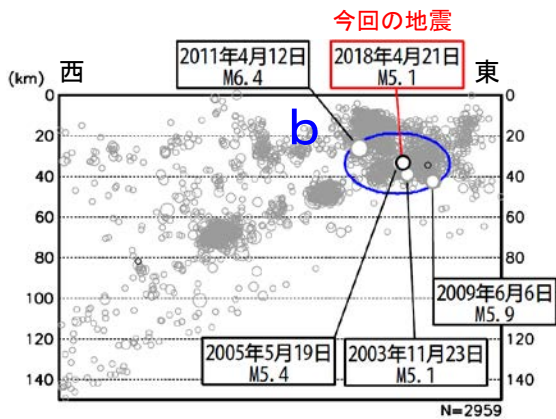


2018年4月21日18時47分に千葉県東方沖の深さ33kmでM5.1の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、北北東-南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

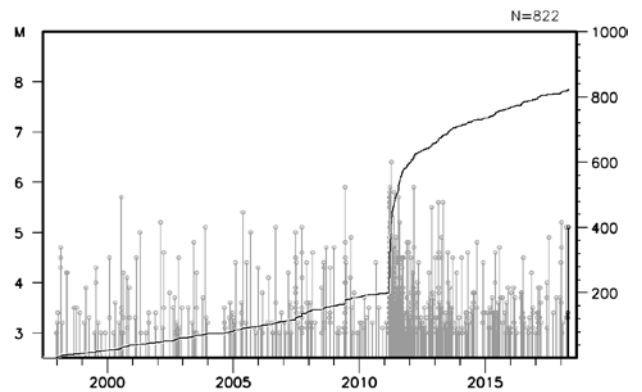
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2003年11月23日と2005年5月19日に今回の地震とほぼ同じ発震機構の地震(それぞれM5.1とM5.4)が発生している。また、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、東北地方太平洋沖地震)の発生以降に地震活動が活発になり、2011年4月12日にM6.4の地震(最大震度5弱)が発生した。

1923年以降の活動をみると、今回の震央付近(領域c)では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。最大規模の地震は、2011年3月11日に発生したM7.6の地震(東北地方太平洋沖地震の最大余震、最大震度6強)である。

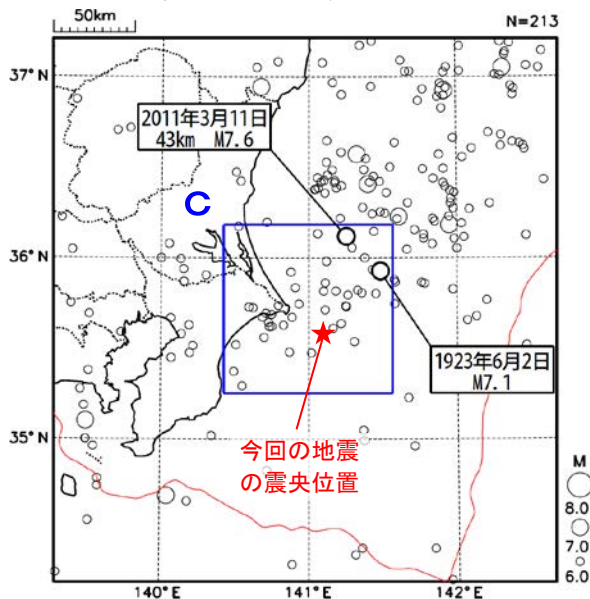
領域a内の断面図(東西投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1923年1月1日～2018年4月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図

